

〈3〉ドイツ政権交代と財政規律緩和で 防衛支出を大幅増額へ

在独ジャーナリスト 熊谷 徹

2025年2月23日のドイツ連邦議会選挙では、保守政党キリスト教民主・社会同盟（CDU・CSU）が首位に立ち、社会民主党（SPD）と大連立政権を樹立する。次期政権は地政学的状況の悪化に対応するため、緊縮を旨とした財政政策を転換し、防衛支出の大幅な増額に乗り出した。

CDU・CSUは前回の2021年の選挙での得票率（24.2%）に比べて4.4ポイント多い28.6%の得票率を確保し、首位に立った。

この選挙結果により、CDUのフリードリヒ・メルツ党首（69歳）が次期首相に就任することが確定した。だがCDU・CSUは極右政党と極左政党に浮動票を奪われ、「圧勝」とはならなかった。ドイツでも米国同様に右派ポピュリズムが拡大して社会の分断が進み、過激政党が得票率を倍増させる中、次期連立政権が安全保障の強化と経済再建を実現できるかどうかが政局の焦点だ。

❖ ショルツ政権への強い不満

この選挙で、ドイツの有権者は政権交代と政治の変革を強く望んだ。そのことは、1990年のドイツ統一以来最高の82.5%という投票率にはっきり表われている。2021年に実施された前回の連邦議会選挙の投票率は、76.4%だった。選挙前のドイツで市民と話すと、オラフ・ショルツ氏が率いた三党連立政

権への失望感が強く、社会に「政治を変えなくては」という危機感が漲っていた。

ショルツ政権の三党連立政権は2024年11月に、財政政策をめぐる各党の意見の対立が原因で崩壊した。政治の空白状態をなるべく短くするために、2025年9月に予定されていた連邦議会選挙が、7カ月前倒しされた。

実際、有権者はショルツ政権に属していた三党、つまりSPD、緑の党と自由民主党（FDP）を厳しく罰した。ショルツ氏が属するSPDの得票率は、前回の選挙の25.7%に比べて約9ポイント減った。ショルツ氏の指導力の弱さについては、論壇から市民から批判の声が強かった。SPDの16.4%という得票率は、結党以来最低だ。緑の党の得票率も14.7%から11.6%へ約3ポイント減少。企業経営者を支持基盤とするFDPの得票率は11.4%から4.3%にほぼ半減した。同党は、得票率が5%に達しなかったため、連邦議会から排除された。ドイツでは小党乱立を防ぐために、得票率が5%未満の政党は、会派として連邦議会に議席を持ってない。

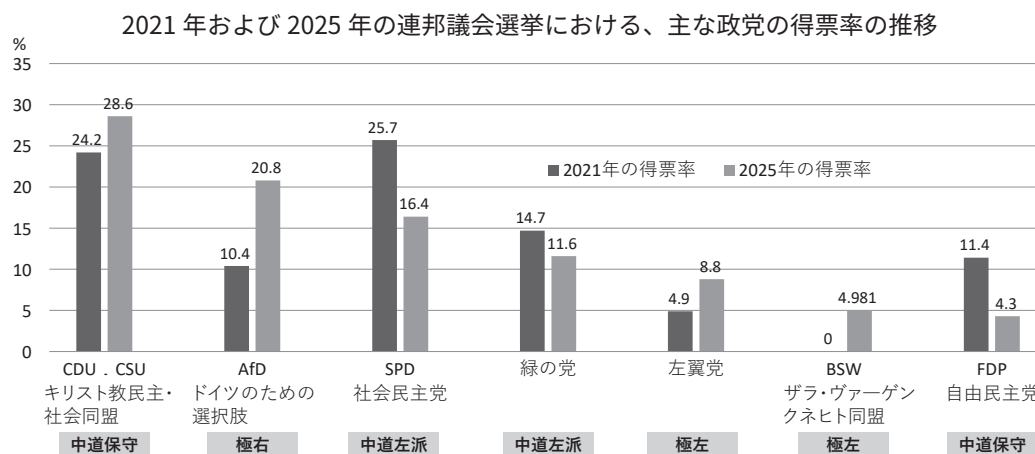
❖ 「圧勝」できなかったメルツ氏

今回の選挙で注目される点は、与党の惨敗にもかかわらず、CDU・CSUが与党から多くの票を奪うことができず、「圧勝」できなかったことだ。CDU・CSUの首相候補メルツ氏は、投票日前に「30%を超

える得票率を確保する」という目標を打ち出していたが、この目標の達成に失敗した。アレンスバッハ人口動態研究所の世論調査では、2024年11月にはCDU・CSUへの支持率が37%と高い水準に達していた。だが2025年2月の連邦議会選挙でのCDU・CSUの得票率は、11月の支持率よりも約8ポイント低い28.6%だった。

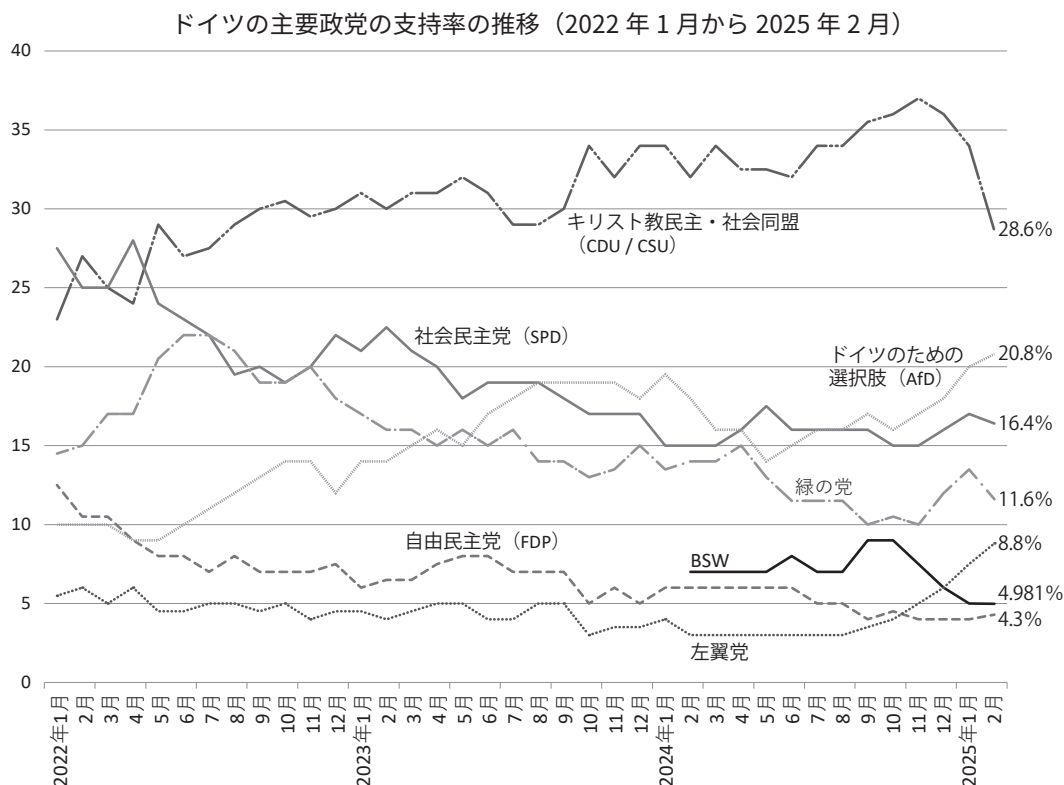
次期の連邦議会（2025年～2029年）の議席定数は

630議席なので、過半数は316議席である。CDU・CSUは208議席、SPDは120議席を確保した。両党の合計は328議席で過半数に達する。このためCDU・CSUとSPDが大連立政権を樹立する見通し。両党は4月9日に連立契約書の内容について合意し、メルツ氏は「2025年5月前半に政権を樹立させる」という希望を表明した。



出所 ドイツ選挙管理委員会による最終結果

https://www.bundeswahlleiterin.de/info/presse/mitteilungen/bundestagswahl-2025/29_25_endgueltiges-ergebnis.html



資料 2025年1月以前：アレンスバッハ人口動態研究所のデータを基に筆者が作成

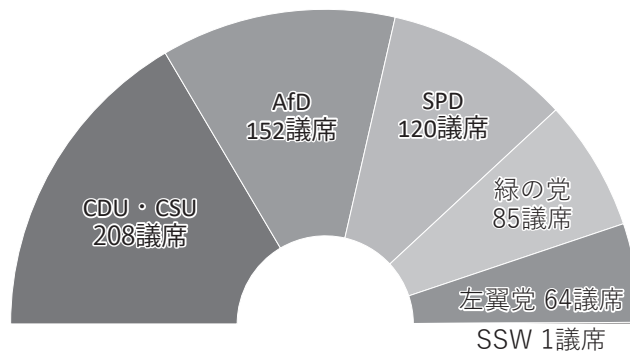
<https://www.ifd-allensbach.de/studien-und-berichte/sonntagsfrage/gesamt.html>

2025年2月は、連邦議会選挙の得票率

ドイツ選挙管理委員会による最終結果

https://www.bundeswahlleiterin.de/info/presse/mitteilungen/bundestagswahl-2025/29_25_endgueltiges-ergebnis.html

2025 年～2029 年の連邦議会の議席配分



資料：ドイツ選挙管理委員会による最終結果

https://www.bundeswahlleiterin.de/info/presse/mitteilungen/bundestagswahl-2025/29_25_endgueltiges-ergebnis.html

(注) SSW (南シュレスヴィヒ選挙人同盟) は、北ドイツのシュレスヴィヒ・ホルシュタイン州を地盤とするデンマーク系住民の政党。

❖ 極右政党の得票率が 2 倍に

今回の選挙で得票率を最も大きく伸ばしたのは CDU・CSU ではなく、極右政党・ドイツのための選択肢 (AfD) だった。AfD は得票率を前回の選挙 (10.4%) に比べて 2 倍に増やして、20.8% を記録した。2013 年の結党以来の最高値だ。同党もある意味では、今回の選挙の勝者の 1 人だった。英国、米国、フランス、オランダ、ハンガリー、イタリア、オーストリアなどを席卷した右派ポピュリストの大波が、ドイツにも到達した。

AfD は EU やユーロ圏脱退、難民受け入れの停止、犯罪を犯した難民の即時追放、エネルギー転換の停止、再エネ電力助成の停止、原子力への回帰、ロシアからの天然ガス輸入再開、ウクライナへの軍事支援の停止などを要求している。他の国の右派ポピュリスト政党と同じく、親ロシア路線を取っている。

AfD の幹部の中には、ナチスドイツの犯罪を矮小化する発言を行っている者もいる。ある幹部は「ドイツの偉大な歴史に比べたら、ナチスの時代など鳥の糞のように些末なものにすぎない」と言った。別の幹部は、ドイツ政府がベルリンの中心部に設置した、ナチスによって虐殺されたユダヤ人のための慰霊碑について、「こんなものを首都の真ん中に建設する国は、ドイツだけだ。これは恥の慰霊碑だ」と語った。この幹部は、演説中にナチス突撃隊のスローガン (「全てをドイツのために」) を使ったために、国民扇動の罪で裁判所から有罪判決を受けている。

AfD の青年部およびテューリンゲン州支部とザクセン州支部は、内務省の捜査機関である憲法擁護

庁から、「極右団体」として監視されている。それにもかかわらず、有権者の 5 人に 1 人がこの党を選んだ。無党派層の動員にも成功し、保守系日刊紙フランクフルター・アルゲマイネ (FAZ) は、「前回の選挙で投票しなかった市民約 180 万人が AfD を選んだ」と分析している。これらの支持者は、AfD がナチスの犯罪を矮小化していることを、特に問題視していないように見える。

❖ AfD は旧東独で第一党

AfD への支持率は、特に旧東ドイツで高い。旧東ドイツの有権者の 3 人に 1 人が AfD に投票した。AfD は旧東ドイツで首位に立った。各選挙区で最も多い票を得た候補者の党によって、ドイツの地図を色分けすると、旧東ドイツはほぼ完全に AfD のシンボルカラーである「青」に染まった。

それに対し旧西ドイツでは、CDU・CSU を示す黒が優勢だった。この選挙結果は、東西ドイツ統一から 35 年経っても、「東西間の心の中の分断」が克服されていないことを示す。旧東ドイツでは、「自分たちは統一によって貧乏くじを引かされた。旧東ドイツ人は旧西ドイツ人から差別されている」と感じている市民が多く、シュルツ政権に対する不満が特に強い。

CDU・CSU と AfD の間の差は縮まる一方だ。2017 年の連邦議会選挙では、CDU・CSU の得票率は AfD の得票率よりも 20.3 ポイント多かった。だが両党の差は 2021 年の総選挙では 13.8 ポイント、今回は 7.8 ポイントに縮まった。2025 年 4 月に公表された世論